



清瀬二中だより

より豊かな心をつちかう より深く自ら学ぶ よりよくはたらき責任をはたす よりたくましく心身をきたえる

教育目標

愛情 学力 勤労 健康



応援のありがたさを感じて ～ 運動会 ～

5月28日(土)に快晴のもと、第49回運動会を実施しました。当日は、多くの方にご来校いただき、朝早くから生徒たちを応援していただきました。ありがとうございました。

一昨年度は、緊急事態宣言を受けて2時間程度の学年運動会を実施しました。昨年度も緊急事態宣言中により、無観客での実施でした。今年度はようやく全校生徒で保護者の皆さんを迎えての運動会となりましたが、感染症予防対策により来校者数を制限しての実施となりました。保護者の皆様には、感染症予防に係る学校の取組に対してご理解、ご協力いただき感謝しております。



今年度は短距離走や長距離走、リレー等を中心に競技種目を絞り込み、午前中のみ実施というコンパクトな運動会でしたが、生徒たちは「笑顔の嵐 逆境を越え 巻き起こせ!」というスローガンのもと、実行委員を中心にして運動会を盛り上げてくれました。係の生徒たちが自分の役割をしっかりとこなして大会を運営し、全ての生徒が自分やクラスの目標に向けて、知恵を出し合い、力を出し合い、心を合わせて、笑顔があふれる素晴らしい運動会を創り上げてくれました。

今年度の運動会を通して、声援がエネルギーとなり、会場の雰囲気盛り上がり、ひとり一人の力が発揮されることを思い出させてもらいました。3年ぶりの運動会は、応援して下さる方々の大切さを感じる機会となりました。

最後になりますが、近隣の皆様には、練習期間中より、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

※運動会の様子は、学校HPの「R4 運動会 Album」のページをご覧ください。
右のQRコードよりアクセスができます。



R4 運動会 Album

6月学校行事予定

- | | |
|---|----------------------------|
| 6月 2日(木) 耳鼻科検診 | 17日(金) 漢検、避難訓練
中央委員会 |
| 3日(金) 教育実習終 | 20日(月) 生徒会朝礼、眼科検診 |
| 6日(月) 教育相談週間
1年生三者面談始～14日
2. 3年生二者面談始～14日 | 22日(水) 定期考査週間始
部活動停止期間始 |
| 8日(水) 安全指導 | 23日(木) 1年生「和の心講演」 |
| 9日(木) 歯科検診 | 29日(水) 期末考査(技家、音) |
| 16日(木) 専門委員会 | 30日(木) 期末考査(社、理、数、体) |



7月1日(金) 期末考査(国、英)

運動会 開会式：生徒実行委員長のあいさつ

【3学年便りより】

さて、いよいよ運動会本番になりました。各クラスこの日のために努力を積み重ねてきたと思います。その成果を今日最大限に発揮し、楽しい運動会にするためにも、指示や呼びかけをよく聞き、素早く行動できるようにしましょう。また、係生徒は自分の役割をしっかりと確認し、スムーズに運動会が行われるようにしましょう。そして今、古くからの先輩方の伝統が私たちに引き継がれようとしています。新型コロナウイルスの状況により失われてしまったものもあるかもしれませんが。しかし逆に言えば、新しい伝統を創るチャンスなのではないでしょうか。ぜひ今日の運動会が後世に何か残していけるようなものにしましょう。今年度は昨年度までとは違い、保護者の方々の観戦が制限のある中ですが、可能となっています。今日までの努力、クラスの絆、団結力が保護者の方々に見て伝わるようなものにしましょう。今年の運動会のスローガンは「笑顔の嵐 ～逆境を越え巻き起こせ～」です。一人ひとりが協力して、最後皆さんが満面の笑みで悔いの残らない運動会だったと言い切れ、自分の思い出の1ページに残る行事をここに全員で創り上げていきましょう。



●運動会の振り返り 1分間スピーチ 2学年

運動会後の5月31日は、各学級で運動会の振り返りを行いました。2年生では新しい試みとして例年の作文ではなく、全員が「1分間スピーチ」を行いました。

運動会の練習や当日を通して一番学んだこと、楽しかったこと、苦労したこと、みんなに感謝を伝えたいことなどをテーマにスピーチしました。一人で努力するよりみんなで努力することが楽しかったこと、走るのが苦手でも全力で走ったら友達にナイスランと言われて嬉しかったこと、リレーを通して練習をすることの大切さを感じたこと、みんなと一緒に努力した大縄跳びで達成感を得たこと等々…それぞれが考えたことを発表して、作文とは違ったまとめができました。



5月25日に文部科学省から出された「マスクの着用に関するリーフレット（抜粋）」です。

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

就学児について
(小学校から高校段階)

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
- ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合

<例> 離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び

<例> 屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合

<例> 個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

夏の季節は、新型コロナウイルス感染症予防対策と、熱中症予防対策の両方が必要になりますので、生活場面により、マスクの着用を使い分けることが大切になります。

文部科学省通知資料は下記 QR コードより、ご覧ください。



気を付けるポイント（リーフレットより）

※夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。

※マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。